



工学部・教室図書室 数理工学図書室

この教室図書室は、本部構内時計台東側の建物、工学部6号館の2階東南隅にあって、閲覧室と書庫の総面積約60平方米、東と南に広々とした窓をもち、静かに明るい一角である。

本教室は創設以来丁度10年、図書室が発足してから7年という、浅い歴史の新参ではあるけれども、総合的な学科内容の性格上蔵書の質的分布は広範多岐にわたり、その冊数も急速に増大している。現在数約14,000冊、年間増加数1,800冊であり、学術雑誌は和洋あわせて約160種類、年間図書費について見れば、43年度1,100万円余である。

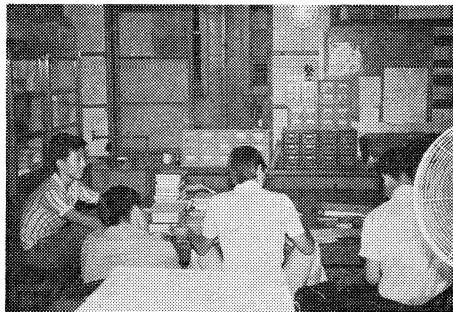
利用形態は殆んど開架式となっている。上にも述べた所蔵図書総合的な性質上、他教室からの、更に又他学部からの、利用者が多い半面、この教室の教官学生が他学科図書室を利用させてもらう機会もまた多いのであって、これがこの教室の特徴の一つである。教室の自他にかかわらず簡易な閲覧が、更にますます助長されることを希望する次第である。

図書室の職員は現在2名である。閲覧者へのサービスに伴って仕事量が次第に加重するという、止むを得ない現況である。

航空工学図書室

昭和17年3月に設立された航空工学教室は、吉田神社境内を望む京大構内の東側の角に位置する木造モルタルぬりの簡素な建物である。図書室は一階にあり、閲覧室、事務室、書庫を合わせても66m²という狭い図書室である。昭和21年1月、応用物理学と名を改め、昭和30年7月に新しく航空工学科を新設するというめまぐるしい歴史を持っている。蔵書数約7,200冊、購入雑誌数は和洋あわせて88種類、その半数が研究室の所属である。利用形態としては、教室関係者には開架式をとっていて、書庫に出入り出来る。しかしながら書庫にある本は大部分が古い本であるため、昭和36年度から年間図書室予算のうちで学生用図書購入に約10万円を組み込み、学生用図書を充実しつつあるが、学生の要望に応えるにはまだまだ充分といえないのが現状である。

目録体系は3年余りかかってNDCによる分類目録に還元しつつあるが、なにぶん1人の職員であるため、中々おもうようにはかどらず、利用者に御迷惑をおかけしている事と思う。又建物自体、老朽化しているため、図書室及び書庫の雨もりも激しく、早急に新しい建物が建てられるように待ち望む声も多い。



航空工学図書室

あしがち 本号は「大学問題」関係の特集号みたいなかたちになりました。資料紹介も前号の単行書にひきつづき、今号は雑誌をとりあげました。

われわれの多少の努力が、大学問題のよき解決に少しでも役立つことをねがっています。

京都大学附属図書館報「静脩」Vol. 6, No. 3 (通号30号) 1969年9月15日発行・編集発行人：
岩瀬敏生 発行所：京都大学附属図書館・京都市左京区吉田本町・電代表771-8111 (内線) 2220~2238